休日♫ かずさんぽ Vol.27

袖ケ浦に誕生して22年！
地域とともに成長する花と緑のテーマパーク！

この秋こそ 東京ドイツ村へGO!

千葉県マスコットキャラクター チーバくん

広大な敷地に豊かな自然があふれる東京ドイツ村。ゲートをくぐれば、そこには四季折々の草花はもちろん、動物との触れ合いや、身体を動かすアクティビティが広がります。地域密着のイベントや体感型の催しなどを行う背景には、「この地だからこそ実現できた風景」への思いがありました。

袖ケ浦市にドイツ村!?

車に乗ったまま入場し、広い園内をぐるりとまわることのできる珍しいスタイルのテーマパーク「東京ドイツ村」は、小さい子ども連れのファミリーや、自然に親しみたい方など、多くの人を惹きつけてきました。近年では冬季のイルミネーションが話題となり、遠方からそれを目的に訪れる人も。

誕生は22年前のこと。創業オーナーがドイツを訪問した際に田園風景の美しさに惚れ込んだところから始まります。

「帰国後、そのドイツの風景に似た土地を探し、現在の袖ケ浦市にドイツ村をつくることを決めました。当時は千葉県内にいくつか候補地があったようです」と、現在、総支配人を務める山尾隆一さん。

完成予想図

当時は東京湾アクアラインが開通し、袖ケ浦エリアと東京の距離感が一気に縮まったこともあり、東京ドイツ村と名付けたのだそう。「千葉なのに東京？と言われることが多いですが、そのおかげもあって多くの方に認知していただくことができたと思います」と、山尾さんは振り返ります。

誰もが楽しめるように…光るスタッフのアイデア

“最上級の『たのしさ』『いこい』『つながり』が1年をとおして気軽に感じとれる公園”を目指す東京ドイツ村。施設運営のモットーは「やさしさと柔軟なアイデアを持ち、たゆまぬ努力と挑戦によってみなさんの休日に彩りを添える」こと。その言葉通り、スタッフは27万坪にもおよぶ広大な土地をどう活かし、どう楽しむかを常に考えていると言います。「休日にプライベートで出かけたときなども『この花はなんだろう？東京ドイツ村にも植えられるだろうか？』などと考えています」と山尾さん自ら語るように、スタッフも既存の概念にとらわれずアイデアを出し合い、いくつも実現しています。

また、今でこそ多くの施設で行われている冬の風物詩イルミネーションですが、その先駆けとなったのも東京ドイツ村。2006年から開始されたイルミネーションは、2018年までは関東の三大イルミネーションと呼ばれ、一躍その名前を全国区にしました。

「訪れた方にとって価値あるものでありたい、という創業当初からの思いはそのままに、時代とともに変わっていくレジャーのあり方を模索しています」。

地域とのつながりを大切に

年間来園者数が100万人を超える一大テーマパークが大切にしているのは、地域との連携。粕谷智浩袖ケ浦市長のイルミネーション点灯式出席をはじめ、敷地の広さと整備された道を活かして市のウォーキングイベントなども実施。袖ケ浦市のイベント会場のひとつとして活用を進めています。

地元、袖ケ浦高校の吹奏楽部や書道部のステージ出演など、若い世代の応援も積極的に行っているほか、昨年度からは、地元の小学校へ、袖ケ浦市の花であるユリの球根をプレゼントする活動も。これは地域学習で市立奈良輪小学校の児童が「袖ケ浦市を市の花“ユリ”でいっぱいにしたい」と考えたことから始まったもので、東京ドイツ村で植えられていたユリの球根の活用につながりました。

また、地元農家との連携による農産物の収穫体験なども好評です。「落花生やさつまいもなど、地域の特産品を知っていただく機会にもなってほしいと思っています。農家さんだけでは難しいこと、東京ドイツ村だけではできないこと、そういったことを連携して実現していきたいですね」と山尾さん。袖ケ浦市らしいテーマパークとなることを目指して、日々努力を惜しまずにチャレンジを続けています。

イルミネーションで多くの方に知っていただいていますが、新しいFIVE SENSES GARDENなど、大人が静かに過ごせるエリアもありますので、ぜひ「**イルミネーションだけじゃない！東京ドイツ村**」をお楽しみください。

総支配人
山尾 隆一さん

PICK UP! 絶景VIEW!

新エリア

FIVE SENSES GARDEN

東京ドイツ村の中でもっとも高い位置にオープンした「五感で楽しむ庭」は、ガーデンデザイナーの佐藤麻貴子さんの手によるもの。木々がつくる陰影、小川の水音、生い茂った草花の香りなど、まさに「大人がゆったりと過ごす庭」といった風情。ピアノが置かれ、自由に弾くことも可能です。

秋の見どころは木々の紅葉や、ミューレンベルギアなどのグラス系の植物。晴れた日には富士山も見えるイングリッシュガーデンで、穏やかな時間を過ごしてみては？

イルミネーション

10月下旬から始まるイルミネーションは光り輝く大草原で光と音のショー・虹のトンネルなど圧巻！なだらかな丘陵という地形を活かした演出で、毎年新しい驚きがいっぱいです。今年のテーマは「ガリヴァー旅光記」、キラキラと輝くカラフルな楽しい空間が広がります。

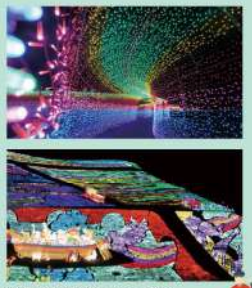
今年は初のクリスマスマーケットも開催！クリスマスオーナメントなどのグッズ、シュトーレンなどのグルメをぜひ楽しんで！

秋の花畑

季節ごとに息を呑むような絶景をみせてくれる花畑。

かわいらしい姿の緑のコキアが、色づき一面真っ赤に染まるのは10月上旬から中旬にかけて。9月下旬から11月下旬にかけては、艶やかなケイトウも楽しめます。

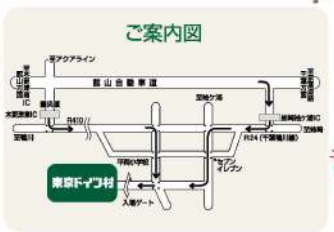
その他にも、11月中旬頃までマリーゴールドやマムが、その後はウィンターリリーが咲き乱れます。色とりどりの花が咲く園内は、散策にもぴったりです。



※写真は昨年度のイルミネーションです。

DATA 東京ドイツ村
袖ケ浦市永吉419
電話：0438-60-5511
https://t-doitsumura.co.jp/

ご案内図



ACCESS

◎お車でのご来園
- 館山自動車道「姉崎袖ケ浦IC」より約3km、5分
- 圏央道「木更津東IC」より約6km、10分

◎バスでのご来園
- JR千葉駅より高速バス カピーナ号 東京ドイツ村下車
- JR内房線袖ケ浦駅（南口）より日東路線バス（のぞみ野・平岡線）東京ドイツ村下車

NEW

タイヤがバウムクーヘン!?
ラッピングバス運行中！
東京ドイツ村初のラッピングバスが登場！見かけたらSNSにアップしてね！！